

エアフィルターの可視包装

2011日本パッケージングコンテスト入賞

JPI主催の2011年度日本パッケージングコンテストにおいて、弊社の包装仕様が電気・機器包装部門賞を受賞しました。今回は、その受賞作品である『エアフィルターの可視包装』をご紹介します。

改善のポイント

改善前の仕様は、内装材を使用しないで0201形の段ボールケースに入れて路線便で出荷されてきました。そのため、一部製品にコーナー部が破損する不具合が発生していました。今回の仕様改善は、天底キャップによる可視包装にすることで、荷扱いの改善効果と共に、環境に配慮し段ボール使用量を増やさず保護性能を向上させた点です。



梱包完成状態

・製品に天底キャップを被せ、PPバンドで結束。

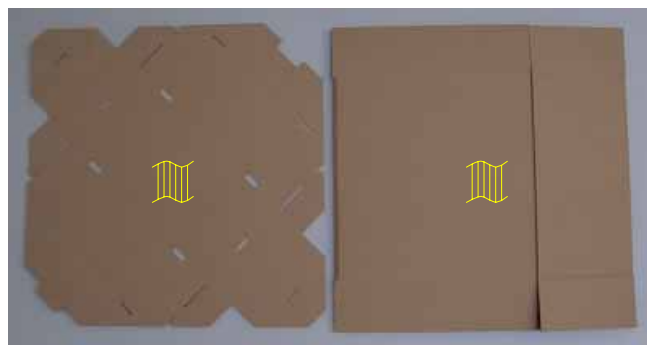


天底キャップの構造

- ・コーナー部の段ボールの枚数を増やし保護性を向上。
- ・中央部が噛み合わせ構造となっているため、容器の対角変形に対する歪みを抑制。

改善仕様のメリット

- ① 荷役作業者に内容品を見せることで、丁寧な作業が期待できる。
- ② 天キャップを持って荷役できるため、コーナー部を高い位置から落下されにくくなり、コーナー部破損の可能性が低くなる。
- ③ 天底キャップの構造により緩衝距離を増やすことで、外部からの衝撃を緩和し保護性が向上する。



左：改善後

右：改善前

- ・段ボールを45度の目方向で組み立てるため、面方向に対して均一な強度を保持。
- ・段ボール使用面積が改善前の0201形の外装ケースと同等。